

員数は前年度と比べ1名減の40名となっている。

指導体制については、新学習指導要領の実施に向けてた意向処置による小学校3、4年生の外国語活動や5、6年生の英語科の授業数増に対応するため、2名のALTと新たに幌延小学校に学習支援員を1名配置し、今年度も特別支援教育支援員を幌延小学校に2名、心のサポート相談員を幌延中学校に1名配置し、学習支援や生徒指導の実施を図っていく。

問寒別中学校2年生の遠藤芽衣さんが第42回全国児童生徒木工工作コンクールで、全国2万5千2百20点の作品の中で、見事に中学生の部で入選を果たした。



地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



高橋 秀之

- ・人口減少について
- ・選挙公約について

人口減少について

質問 人口減少を前提とした対策を今まで以上考えていなければ減少は押さえられないと思うが。

町長 早急に手を打つ課題だと認識している。今まで注ぎ込んできた投資の部分も芽が出れば、雇用の場も増えるが、人手不足の課題も大きく、二つあわせて今後考えていく。

質問 高齢者の経験を活かす、就労を続ける仕組みを創るため、シルバー人材センターの設置を考えては。

町長 拠点、柱になるところを見据えて、シルバー人材センター運営をしていかなければならない。そこから前へ進めなかったのも現実であり、健康で元気に動ける働き場として必要であると考えている。

質問 創生人口ビジョンの52年の目標人口の数値を見

直さない考えてよろしいのか。

町長 5カ年計画を立てた以上、平成31年度末までは目標数値は変えないし、そこに投資をし、雇用の場の確保、経済の活性化を図っていききたい。

質問 平成28年度末では、出生率1.84と増加しているが、出生数の増加に至っていない。自然増減や転出の傾向を分析して、人口目標を設定したのか。

町長 計画策定時点で立てた時の人口で2.07の出生率でいけば、達成できるだろうという希望的数字だった。

質問 以前、企業誘致について早急に条例、規則を作り、進めようとしていると答弁があったが、現在の進捗状況はどうなっているか。
町長 固定資産税減免の措置等を作って、いままで作

ってきたものと併せてPRできると感じている。

選挙公約について

質問 地域トークの開催で、平成27年度の答弁で今年中に計画を立て、少しずつ進めるとあるが、今はどのように取り組んでいるか。

町長 もっとフレンドリーに小さなサイズの関係機関と砕けた形でトークができるようになれば最高だと思った。

質問 特産品の開発促進を早急にお願したい。

町長 個人、民間で進められるのであれば、どんな形でお手伝いできるのか考えていく。

質問 任期中に達成できない公約が沢山あると思うが、2期目を目指す考えはあるのか伺う。

町長 秋まで全力で公約の施策を進めていく。最終決断は、後援会の皆様方に相談をさせていただきながら、前向きに次期選挙に向けて体制を築けるように頑張っていく。